



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社UACJ 上場取引所 東  
 コード番号 5741 URL <http://www.uacj.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 飯田 晴央 TEL (03) 6202-2600 (代)  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	301,854	8.2	15,794	52.0	12,800	73.2	6,860	216.7
29年3月期第2四半期	278,863	△4.3	10,394	16.9	7,389	0.9	2,166	△50.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 8,120百万円 (－%) 29年3月期第2四半期 △13,552百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	142.16	—
29年3月期第2四半期	50.65	—

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	753,209	204,763	25.3	3,946.56
29年3月期	725,443	198,360	25.4	3,814.67

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 190,438百万円 29年3月期 184,090百万円

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
30年3月期	—	3.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	30.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

※平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金については、株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は3円となり、1株当たり年間配当金は6円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	630,000	10.9	36,000	39.2	30,000	51.4	17,000	95.1	352.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	48,328,193株	29年3月期	48,328,193株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	74,019株	29年3月期	69,759株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	48,256,230株	29年3月期2Q	42,765,826株

※期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数については、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）

当社は、平成29年6月29日開催の第4期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 1. 平成30年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 期末 3円00銭
- 2. 平成30年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期 35円23銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国の政権運営等、全般的な先行き不透明感を持ちながらも、米国や欧州、中国及び新興国等において、総じて緩やかな景気回復が持続しております。

我が国経済は、企業活動の持ち直しが続く中、底堅い内外需を背景に緩やかな回復基調が続いております。

このような環境のもと、当社グループの業績については、地金価格の上昇等に伴い、売上高は301,854百万円（前年同期比8.2%増）となりました。損益については、棚卸評価関係の好転やコストダウン等により、営業利益15,794百万円（同52.0%増）、経常利益12,800百万円（同73.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,860百万円（同216.7%増）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

#### アルミ圧延品事業

アルミニウム圧延品業界の国内需要については、板類では、飲料缶向けで低アルコール飲料向け需要が好調だったものの、ビール類は天候不順の影響で減少し、飲料缶向け全体では対前年同期で微減となりました。自動車関連分野においては、外板パネル材ならびに部材用板材の数量が大きく増加しており、需要は引き続き好調でした。押出類に関しても同様に、自動車分野や一般・精密機械向けなど需要は好調となっております。半導体や液晶・有機EL等の製造装置向け需要も、板・押出類共通で好調であり、内需全体として前年同期を上回りました。

当社グループの国内向売上数量は、上記全体需要とほぼ同様の傾向であり、板押出ともに前年を超える結果となりました。特に自動車関連や厚板需要については、高水準の販売が継続しております。一方、北米では、前年同期の販売が設備故障明けで多かったことから前年同期比で減少となり、当社グループのアルミ圧延品総量ではほぼ前年並みとなりました。

このような販売状況のもと、地金価格の上昇等により当第2四半期連結累計期間のアルミ圧延品事業の売上高は、240,466百万円（前年同期比7.9%増）となりました。営業利益については、棚卸評価関係の好転やコストダウン等により、16,010百万円（同34.5%増）となりました。

#### 伸銅品事業

当事業の主力製品である空調用銅管の主要用途である家庭用エアコン及び業務用パッケージエアコンの国内生産は堅調を維持しており、国内出荷台数とともに前年同期を上回りました。銅地金価格においては、当第2四半期連結累計期間は前年同期比で上昇しました。このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の伸銅品事業の売上高は22,136百万円（前年同期比2.1%増）となりました。営業利益は、棚卸評価関係の好転等を主因として978百万円（同2,516.2%増）となりました。

#### 加工品・関連事業

IT関連を中心とした需要増加に伴う受注増や、地金価格の上昇等により、当第2四半期連結累計期間の加工品・関連事業の売上高は90,594百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益は2,323百万円（同56.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により前連結会計年度末と比べて6,403百万円増加し、204,763百万円となりました。

総資産については、棚卸資産の増加や設備投資等により、前連結会計年度末と比べて27,766百万円増加し、753,209百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月10日に公表いたしました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成29年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,242	21,802
受取手形及び売掛金	126,287	133,624
商品及び製品	29,179	32,948
仕掛品	42,969	49,115
原材料及び貯蔵品	43,764	52,735
その他	22,152	29,645
貸倒引当金	△29	△44
流動資産合計	305,563	319,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,516	61,562
機械装置及び運搬具（純額）	95,953	97,414
土地	115,034	115,975
その他（純額）	32,964	48,227
有形固定資産合計	305,467	323,178
無形固定資産		
のれん	50,677	48,638
その他	16,713	15,716
無形固定資産合計	67,390	64,355
投資その他の資産		
投資有価証券	28,269	28,036
その他	18,857	17,919
貸倒引当金	△103	△104
投資その他の資産合計	47,023	45,851
固定資産合計	419,880	433,384
資産合計	725,443	753,209

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成29年 9 月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	104,431	122,859
短期借入金	50,592	55,935
1年内償還予定の社債	2,500	2,500
1年内返済予定の長期借入金	45,268	39,615
その他	34,859	31,732
流動負債合計	237,650	252,641
固定負債		
社債	2,500	1,250
長期借入金	222,964	228,500
退職給付に係る負債	18,768	18,689
その他	45,201	47,367
固定負債合計	289,433	295,805
負債合計	527,083	548,446
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	52,277	52,277
資本剰余金	80,318	80,318
利益剰余金	42,252	47,664
自己株式	△241	△254
株主資本合計	174,605	180,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,592	3,031
繰延ヘッジ損益	△661	△874
為替換算調整勘定	6,851	7,529
退職給付に係る調整累計額	703	748
その他の包括利益累計額合計	9,485	10,433
非支配株主持分	14,270	14,325
純資産合計	198,360	204,763
負債純資産合計	725,443	753,209

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)
売上高	278,863	301,854
売上原価	242,923	259,089
売上総利益	35,940	42,766
販売費及び一般管理費	25,547	26,971
営業利益	10,394	15,794
営業外収益		
受取利息	366	443
その他	949	1,101
営業外収益合計	1,315	1,544
営業外費用		
支払利息	2,058	2,439
持分法による投資損失	621	1,658
為替差損	913	—
その他	728	442
営業外費用合計	4,320	4,538
経常利益	7,389	12,800
特別利益		
固定資産売却益	109	90
受取保険金	—	187
その他	11	39
特別利益合計	119	316
特別損失		
固定資産除却損	399	303
たな卸資産評価損	—	124
減損損失	321	—
その他	271	91
特別損失合計	992	519
税金等調整前四半期純利益	6,516	12,597
法人税等	3,913	5,469
四半期純利益	2,603	7,128
非支配株主に帰属する四半期純利益	437	268
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,166	6,860

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)
四半期純利益	2,603	7,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	230	436
繰延ヘッジ損益	241	△301
為替換算調整勘定	△13,899	801
退職給付に係る調整額	△361	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,367	61
その他の包括利益合計	△16,155	992
四半期包括利益	△13,552	8,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,587	7,809
非支配株主に係る四半期包括利益	△965	311



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	197,563	15,796	65,504	278,863	—	278,863
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,289	5,875	13,859	45,024	△45,024	—
計	222,853	21,671	79,363	323,887	△45,024	278,863
セグメント利益	11,902	37	1,487	13,427	△3,034	10,394

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,034百万円には、たな卸資産の調整額64百万円、セグメント間取引消去△156百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,942百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	211,133	15,910	74,811	301,854	—	301,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	29,334	6,225	15,783	51,342	△51,342	—
計	240,466	22,136	90,594	353,196	△51,342	301,854
セグメント利益	16,010	978	2,323	19,311	△3,517	15,794

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,517百万円には、たな卸資産の調整額△191百万円、セグメント間取引消去△164百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,162百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。